

# 全国学校ギター合奏コンクール 2023 審査講評

A-15 番 団体名 淑徳巣鴨中学高等学校ギター部

課題曲 曲名: Let's Swing / 有馬礼子 <指揮: 則竹永里世>

自由曲 曲名: Fuga "Great" BWV542 / J.S.バッハ(小林徹編) <指揮: 市川和佳奈>

審査員名	課題曲	自由曲
有馬	マナー○ アナリーゼ○ 技術○ 音色○ 指揮○ 私は基本的に齒に衣着せません。バカ正直です。すごい人数!! 中学と高校では 本当は 力の差は歴然なんですけどそれだけにまとめるのが大変と思えますがよくまとまっていますねえ! びっくりです。良い演奏ですね !! ケチ のつけようがない。本当です。でも甘くは見えてませんよ。	マナー○ アナリーゼ○ 技術○ 音色○ 指揮○ バッハは整いすぎているので評価しにくいのです。もっと遊んで!! と言ったってバッハでは遊べません。教科書みただけからです。でも教科書なりに楽しく面白い。それなりの魅力ってあるんです。君たちにはそれがあって面白いです。ま、やはり 文句のつけようがありません。
新堀	マナー× アナリーゼ× 技術○ 音色○ 指揮高い少し曲がタテ割り流れが△。ギター×7は迫力◎	マナー× アナリーゼ× 技術○ 音色× 指揮、あまりに高すぎ。この曲は特に先は下向きに。U の字は×。V で振る。足開き×。この指揮だとバロック表現は△。指揮はレッスン受けてください。大編成でのバロックの意味が損なわれる。ギターとコンパスは右端が特にこの曲では大切(シュトラウスなら○)
竹内	26 小節にない、b が 27 小節にあることでのイメージの変化は? スイングが楽しくきこえてくるための工夫が、そのまま聴く人にも訴えかけてきます。	19 小節で再び メゾピアノに戻る意識は素晴らしい。でも 20 小節で始まった クレッシェンドの「神秘性」を無視するかのように 3 拍目の C 音(実音)にアクセントがつく。とはいっても全体のフレーズの扱いなど見事なものでアンサンブルとして秀逸でした。
猿谷	低音が多すぎる恐れ。	リズムの甘さ。この人数でタイトにするのは大変難しいだろうけれども、より高いものを求めて完成させてほしい。
堀	大人数で音量、音圧があるのを活かしています。  の符型を聞き取るのが少し難しかったです。	フーガはメインとなる モチーフが各パートに現れますが他パートがメインモチーフを担当している時の動きをつい大きく弾いてしまうような箇所があったかもしれません。(トリルの音はあってました? 2 度上は音階に従う。もし合っていたら ピッチの問題か) 細かい符型が低音に出てくる時は、撥音のスピード、倍音の調整をして聴き取りやすくするとより良いと思います。
柴田	実音からトレモロに入る時スムーズに行かない。アンサンブルはきっちり出来ているし、レベルも高い。しかし何か欲しい。	聴いていて楽しいが評価となるとつけにくい。ギター全体が他のパートとずれる(遅れる)のが気になる。
中島	大人数の分、リズムが重くなるのは仕方がないことかもしれない。ギターが、はじくタイミングのせいか遅れてしまったのは今後、工夫が必要。	澄んだ音色が美しい。指揮は人数が多くなるほどテキパキ、キビキビした打点のはっきりした指揮が望ましい。トレモロに違和感を感じた。トリル?

【お問い合わせ】

全国学校ギター合奏コンクール 2023 開催事務局(現代ギター社内)

〒171-0044 東京都豊島区千早 1-16-14

Tel.03-3530-5341